

平成15年度採択 文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」
「特色ある初年次教育の実践と改善 - 教育マネジメントサイクルの構築 - 」

シンポジウム実施報告



学長挨拶



パネルディスカッション

日時:平成19年1月25日(木)13:00~17:00

26日(金) 9:00~12:00

場所:サンプリエール(長崎市元船町2番4号)

テーマ:特色ある初年次教育の実践と改善 - 教育マネジメントサイクルの構築 -
事業報告と今後の展望

プログラム:

平成19年1月25日(木)

学長挨拶 長崎大学長 齋藤 寛

基調講演 「特色GPと学士課程教育」 国際基督教大学 元学長・名誉教授 絹川 正吉

特別講演1 「大学教育改革とその背景～変化する諸環境を踏まえて」

広島大学高等教育研究開発センター 教授 山本 眞一

教育マネジメント趣旨等説明 長崎大学理事, 大学教育機能開発センター長 福永 博俊

特色GP報告 「工学部リメディアル教育について」 長崎大学 教授 原田 哲夫

「環境科学部における文理融合型初年次教育について」

長崎大学 教授 高良 真也

「転換教育としての教養セミナーの実践と改善」 長崎大学 教授 高橋 正克

平成19年1月26日(金)

特色GP報告 「教育マネジメントポータル ～長崎大学が目指す教育改善のIT化～」

長崎大学 助教授 古賀 掲維

特別講演2 「教育計画から見た長崎大学の特色GPについて」

神戸大学 助教授 山内 乾史

パネルディスカッション - 特色GP まとめと総括 -

参加者:延べ98名(一般市民 3名、他大学教職員 22名、長崎大学教職員 73名)

取組の概要:

平成15年度に採択された特色GP事業「特色ある初年次教育の実践と改善 - 教育マネジメントサイクルの構築 - 」における、本学での教育マネジメントサイクル(授業評価, FDをサイクル

の重要な構成要素として機能させ、授業改善を図る)の全学的な展開へ向け、また他大学の取り組みへの一助とし、その成果を学内外に広く公開するため、全国の大学および高校の教員・職員を対象に、長崎大学特色GP事業報告シンポジウムを開催したものです。

シンポジウムの概略:

本シンポジウムでは、学内からの報告のほか、学外からは特色GP実施委員会委員長の絹川正吉先生(国際基督教大学元学長)及び広島大学高等教育研究開発センターの山本眞一教授には、それぞれの立場から「特色GP」について、また、神戸大学の山内乾史助教授には、教育計画的見地から本学の「特色GP」について、3名の講師の方による講演があり、シンポジウム2日目のパネルディスカッションでは、本学における特色GPの今後の展望をテーマに、パネラー及び参加者の間で活発な討論と総括がなされ、好評のもと閉会しました。

シンポジウムの成果:

本シンポジウムでは、特に初年次教育モデル科目の教育改善への取り組み報告から、授業計画の作成・実施 - 授業評価 - 授業改善のサイクルによる初年次教育の具体的改善方法をシンポジウム参加者に理解していただくことができました。

今後の事業への反映:

この成果をさらに充実するために、教育マネジメントサイクルによるモデル科目の改善事例を初年次教育科目全般に拡充し、高校から大学、教養教育から専門基礎教育の移行を円滑に進めることによって、転換教育、学士課程教育の実質化を図っていく予定です。

(特色PGシンポジウムWG)